

会議所では今、無作為で昨秋来の市内の景気調査をさせてもらって事態を知ると共に、対応策を少しで先行させたいと努力いたしておりますのでご協力ください。

何度も申し上げて参りましたが、実際にサブプライムローン、リーマンショックによる原因で世界恐慌が起こっているのは事実であります。それにしてもマスコミが経済への不安感、政治への不信感をあおりすぎると恐怖感を与え、経済を委縮停滞させますので、私はむしろ市民に明るい展望を多く与え、安心して努力する様励ましてくれる報道の方が良いと思っています。

伊藤忠の丹羽さんが言われるように「余りさわぎすぎるから高速道路で皆が急ブレーキを踏み、大渋滞が起きてしまった。これだけの大渋滞だが、何年もかからず1年くらいで戻る。」とされています。

私も今年後半には回復の兆しははっきり見えてくると思っています。

昭和の恐慌は世界中が連絡とれず個々でありましたが、今回は連絡協調がかなり浸透しておるからであります。

各国の首脳の政治生命をかけ、国家財政を傾けて景気回復、恐慌脱出を計っているからであります。若し回復しなかったら、世界各地で暴動や不満が起こり、戦争によって解決を求めらるだろうと予測するエコノミストが多くおります。

今度の世界恐慌は、余り世界のマスコミが恐怖心をあおるから、不安になって経済活動を停止してしまったからであります。人も血流が止まれば死んでしまいます。経済の血流は金であります。特別給付金も本来は血行を良くするための起爆剤の発想だった筈ですが、答弁が悪いからおかしくなっています。給付金が出たら地元商店街でパッと使っていただき、溜まった不安、不満、ストレスを吹き飛ばして下さい。特別給付金は地元で消費、循環されれば2倍3倍となって戻ってきます。

世界中で過剰生産された物の調整は少し時間が必要ですが、アメリカの様にするリストラをしないで経営者も生き方を変えて経費の節約をし、人件費を10%~15%位カットして共に苦しみ、ともに助け合っこの未曾有の恐慌をくぐりぬける勇気を持ちたいものです。

地球上では不況の中でも毎年1億人近い人が、増え続けております。特に東南アジアが人口増加地域であります。高級品、ブランド品は売れなくとも生活必需品の増加は間違えありません。

恐慌ショックで少しの間人余り現象がおこりますが、日本は少子化です。人不足は1年~2年で必ずきます。

こんな不況の時こそ人を養い、育てる経営・・・日本本来の終身雇用を両者がもう一度考えて下さい。

余談ですが、今年もオリエンタルランドの福島社長と新年会をした時、福島社長の話題から「今年度は今までにない最高の業績でした。成功の秘訣は～目に見えない音、雰囲気～作りでした。」とお話しされました。

またうれしい事は「秋元さんからの手書きの年賀状が素晴らしかったので社内回覧させていただきました。」と言われました。

今年は「験（げん）」がよさそうです。困った！困った！では一つも解決にならないから・・・